

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 子どもが安全に通学できる環境整備を（25分）</p> <p>通学路で子どもが犠牲になる悲惨な事故が千葉県八街市でおきました。残念なことに現場の市道一帯は危険と指摘されながら、安全対策が取られていませんでした。この事故を受け、文部科学省と国土交通省、警察庁は全国の公立小学校の通学路を対象とした合同点検を行うと発表しました。今後も、このような痛ましい事故がおきないように通学路の安全を確保することは大変、重要なことです。また、鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画（案）が発表され、今後、小・中学校の統廃合により通学距離が現在より大幅に長くなる児童・生徒がでることが想定されます。このことにより交通安全の観点のみならず防犯面においても細心の注意を払う必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>戸田市では第5次総合振興計画の基本目標の一つである「安全な暮らしを守るまち」に向け、市内全小学校区の通学路を中心にビーコン受信機を備えた防犯カメラを整備しました。</p> <p>子どもたちが安全で、安心して学校へ通学できるようにするために以下質問いたします。</p> <p>(1) 交通安全対策について</p> <p>ア 登下校中の交通事故発生件数について</p> <p>イ 通学路で危険と声があがった道路について</p> <p>ウ 通学路点検の取組の状況について</p> <p>(2) 今後、小・中学校の統廃合で通学距離が長くなることが想定されます。スクールバスの運行についての考えは。</p> <p>(3) 防犯対策について</p> <p>ア 登下校時の防犯対策としての市の取組は。</p> <p>イ 防犯カメラを通学路に設置する考えは。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2 奨学金を活用した若者の地方定着促進について（15分）</p> <p>公明党が調査したところ、日本学生支援機構の発表（2019年）によると、返済が必要な貸与型奨学金の利用者は129万人で、大学生などの2.7人に1人が利用している計算になります。19年度末の延滞者数は約32万7000人で、延滞債権額は約5400億円に上ります。アンケート調査では、4割を超える奨学生が「返済がきつい」と答えているとのことです。</p> <p>国は、一定期間定住し、就職するなどの条件を満たせば、当該自治体が返済を肩代わりする支援制度を2015年度から実施しています。昨年、制度が拡充され市町村負担額の全てが対象になり、その半分を特別交付税措置するようになりました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大で東京に人口が集中するリスクが示され、地方分散型社会への転換が求められています。奨学金返済の支援は、若者の鶴ヶ島定住の一助になると考えます。</p> <p>そうしたことから以下質問いたします。</p> <p>(1) 市内の20歳代の人口の推移について</p> <p>(2) 奨学金返還支援についての見解は。</p>	市長 教育委員会教育長